

MOOCsによるアジア太平洋地域に向けた理工学プログラム および情報学授業の展開

研究代表者：児玉靖司

連携研究者：八名和夫、寺脇由紀、スコット・シェアマン (UC Berkeley)

1. 研究目的と目標とする成果

本研究の目的は機械学習を用いて先進的学習者サポートシステムを構築することである。現在、既に中国の大学とダブルディグリープログラムを開設しており、まずこの分野において実施することを目標とする。将来的には、さらにアジア各国の大学と連携することを目指す。

限られた人数の学生に対して自律的な MOOCs システムを開発することを目指す。

具体的には以下のシステムを実現する。

1. Eポートフォリオの実現に向けた半自動評価システム
2. 学習履歴を用いたドロップアウトリスク管理システム
3. 学習者のための翻訳システム

以上のシステムに加え、ゲーミフィケーションを用い学生の学習動機付けをするシステムを考察する。本研究はグーグル・コースビルダー (Google Course Builder) および、グーグル・アプス・フォー・エデュケーション (Google Apps for Education) を用いて構築する。

2. グーグルサポートチームとの連携

我々は、既にグーグルのサポートチームとの連携を図っており、引き続き協働して研究を進めて行きたい。

以 上